

(会議の経過) 第3回波賀中学校区幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
委員 委員	<p>協議事項で視察を終えて各委員の感想等の意見交換に入ります。</p> <p>公立の竹田こども園は施設のにも良い感じである。0歳から5歳までの子ども達の中で、0歳から3歳までの子ども達には保育士の数も多く、見た感じは良かったと思う。豊岡のこくふこども園の方は私立ということで、教育委員会の方達も担っているが、園長先生から子どもの内面を育てるという話を聞いた。特に問題は無かったと思う。</p>
委員	<p>竹田とこくふの違いは私立、公立ということで、波賀町とは背景が違う。昔は公立の幼稚園に通ってから小学校に上がるということで公立の幼稚園には信頼性があるように思えた。教育委員会の方からの説明もあり分かりやすかった。私立のこくふの園長先生は私立なので好きなようにしていると言われた。波賀町が私立のこども園になった場合でも行政が絡んでいくという宍粟市の話とは少し違うと思った。</p>
委員	<p>私立は保育に進んだ考え方もたれていると思った。教育を引っ張っていくという考え方の違いだと思う。当地区にかぶせて考えてみると、状況が違い地域性の問題、公立との通園距離の問題が負担になってくると思う。どの様に解消していけばいいのか考えさせられた。</p>
委員	<p>公立の方は教育委員会や園長、副園長から、こども園ができた経緯や苦労や難しかった話が聞け、今からこども園を考えていく側としては良い意見が聴けたと思う。私立の方は園長先生だけの説明だった。園長先生のこだわりを聞いて、よく考えているとは思ったが、どの様な苦労があったとか、気をつけたことなどの話しが聞けなかった。どちらも建物は綺麗で良い印象は受けたが、公立のほうが踏み込んで今聞きたい話が聞けたと思う。</p>
委員	<p>どちらも建物にしても遊具にしても綺麗で充実していた。幼保一元化についても、どちらの園もスムーズに運営しているとのことだった。波賀町とは環境が違うからどうなのかと思う。</p>
委員	<p>視察に行くにあたって平日ということもあり、皆さん無理して参加されていたと思う。幼保一元化に向けて真剣だという割には市の職員の参加が少なかったのはどうかと思う。行って見てわかったことは公立同士がくっついたのこども園は園長、副園長、市の職員の方から説明が詳しく、とても良い印象を受けた。民営化になった私立の方は宍粟市が波賀町で進めようとしているこども園とはことごとく園長が否定し、私たちは市の考えは入れません、理事に職員は入れません。私たちは民間です。と個人の持ち物化しているような印象があった。波賀町は幼稚園、保育園があってバランスが取れているのかと思うのでこれを1つにしていくという考え自体がどうなのかあらためて考えさせられた。</p>
委員	<p>公立の竹田こども園は、園長、副園長、教育委員会、資料的にも教育委員会が作っ</p>

	<p>た資料がしっかりしていて、わかりやすい対応で好感がもてた。園長の話から、教育者という感じがすごくした。公立なので朝来の方から財政面でも運営面でも補助されている。園長、副園長も教育に集中できるように感じた。私立のこくふこども園は園長だけの対応で、豊岡の教育委員会と私立になるとすごく距離があり、結びつきも薄くなっているのではないかと思った。園長先生の話からは、経営者というような部分があり、運営するためにはお金が必要になる、そのためには地元の名士が理事長になり、強力な発言がないといけないというような、教育者として子どものことが感じ取れなく、波賀町に必要なのは公立の施設ではないかと今日の視察から受けた印象では思った。施設に関しては新しく良いとは思ったが、新しいことが良いというだけである。竹田こども園については窓の位置が高く圧迫感を感じ子どもの目線からは壁しか見えない状態で、新しい施設ではあるが圧迫感がある。こくふこども園は運動場が狭い。運動場が狭いの子どもが通っていること自体に違和感を感じた。やはり最終的に波賀では公立の施設が必要だと思う。</p>
委員	<p>公立のこども園は安心して子どもを預けられる感じがし、行政と二人三脚で子どもを担うことが伝わってきた。豊岡のこくふこども園については市の職員が同席しなかったというところで、宍粟市からの説明では社会福祉法人になっても、行政が中に入るといような部分に本当に入れるのかという疑問を持った。どちらも運動場が狭い。長時間保育と短時間保育はしっかり整理されていると感じた。通園では4キロ以上離れたところも親が責任を持って送られていて、マイクロバスがないのは何故かとお聞きしたら、通園は親の責任ですることになっているとのことだった。その部分は波賀町と違うと思った。</p>
委員	<p>親の目線として見せてもらったところ、どちらの園も建物も非常にきれいであるし、広さ的にもそんなに違和感なく感じた。こんな感じのものができるとかと思い、波賀町でもできるのなら良いなと思った。一番親として気になっていた長時間保育と短時間保育はどのような感じなのかが心配だったが、どちらの園も問題なく、すんなりとできているので思ったほど心配ないようだった。私立のこども園も、園長先生が個性的ではあったが経営者という感じの印象があった。山間部でわたりあっていこうと思えば自分の足でしっかり歩いていこうという力強さを組織の中で誰かが持っていないと駄目なのかという印象を受けた。教育施設として必要かどうかは別として事業として成り立たせるにはああいう存在の人はいるのかなと思った。実際の子どもと接する先生を見ることができなかつたのと、本当は保護者の意見が聞きたかつたが今回は聞けなかつた。総合的にみて民間でも公立でもどちらに預けても良いと思った。</p>
委員	<p>朝来のこども園は教育委員会の方も同席されての話だったので、細かいところまで話しが聞けてよかつたと思う。朝来市の方は保育料のこともきっちり示</p>

委員	<p>してあり上限も低かった。子どもを育てる親のためにつくられている施設だと思った。行政との係わりが濃かったので市内平均して同一レベルの教育が受けられる利便もあると思った。研修や指導などが行政と係わりが深いので活発に行われていると思った。私立のこども園は波賀と状況が違う部分もあった。地域の教育というよりは園独自の教育方針が表に出てきていたので市内同一レベルの教育がおこなわれない恐れもあるのではないかと思った。行政との係わりがあまりないように思え、不安を感じた。</p>
委員	<p>両園共に、今までに学童の部分が確立されているという話を聞いて、保護者的にこども園になっても問題なく浸透しやすいと思った。私立のこくふこども園も在園しているほとんどの子ども達が、保育園の卒園生ということで、保護者としては不安材料が何も変わらない状況だと思い、波賀とは状況が違うと感じた。保護者の中で不安な部分は公か私かということなので、この視察でじっくり検討していただきたい部分かと思った。どちらも表面的なことでは視察ができなかったので両園の保護者の意見も聞きたいと思った。</p>
委員	<p>2ヵ所のこども園の見学に行き、2つとも建物が新しいので充実していて子育て支援室や給食施設なども充実していて素晴らしい施設だと思った。公立の施設は窓が高く、昼間の光を浴びずに保育しているのではないかと思った。川の側に建てられ、防災のことを考えたらどうかと思う。園庭が非常に狭く感じた。遊戯室の方は非常に大きくていい感じだった。天井が高いので寒い日には暖かくなるのに時間がかかると思った。市のほうも詳しい説明で、どれだけの予算が必要で、どのように手順としては進めたのかということも分かりやすかった。民間と公立を1つにするあたりはまだ課題が残っていて難しいと感じた。こくふこども園の方は聞きたいことを園長先生が全て話してくださったので、非常に良く分かって保育の内容のことも保護者会で不安な意見も出たが、不安なく解消できるなど。保育園の機能の0歳から3歳までの保育プラス幼稚園の4、5歳の教育を足したものがこども園として活躍されているのを見て今からの時代には必要だと実感した。</p> <p>当日は仕事を一日休んできていただき、それくらい一元化に興味関心をもたれていることに感動した。公立の方は行政とこども園の職員、地域の方が一緒になってこども園をしていこうという力強さ、将来は朝来市に帰ってきてもらう子ども達を作りたい、そのためにはお金を惜しまないという、そういった考えがすごいと感じた。施設が壊れた場合は市が責任を持って修理するとなっていて、親だったら安心できるのではないかと思う。公立、私立を一緒にするのが難しく、最初から私立にするのではなく、調整しているという姿勢がすごいと思った。納得するまで話し合うという朝来の姿勢がすごいと思った。0歳から5歳までだが、4、5歳にすれば園庭が狭く感じた。子どもは坂道で体が鍛えられる、あの園</p>

委員	<p>庭では子どもの体が鍛えられないと思った。4、5歳になるとあの園庭は不満になると思う。山あり谷ありの園にした方がいいのではと思った。こくふこども園は独自の理念があり、よくわからなかった。豊岡市のカリキュラムにのっとって教育保育をおこなっていると言われたが、よくわからなかったのと、人がしないことを、進んでするというのも、どの様に保育の内容に入れられるのか独自すぎて理解できなかった。風通しの悪い感じがした。公立と私立の違いが良く分かり、違いのあるところにつれていってもらえてよかったと思った。</p>
委員	<p>こども園が、実際はどの様なものか分からなかったので、公立、私立のこども園が見られて良かった。朝来のこども園の場合は公立同士が一緒になり、考え方が一本化でこども園にするのには問題がなく、保育所と幼稚園が一緒になるということで、中の時間の工面や先生の調整や子ども達をどのようにしていくかの不安はあったけど、朝来市の教育委員会と一緒に進めていくことで経営のことは何も考えなくて良かったとのことだった。先生として専念したらいいとのことだった。これが教育ではないかと思う。教育委員会の方も教育にける公費は惜しまず予算を設けているとのことだった。未来の子どもを育てていくことで根っこを育てると言うだけではなく市がバックアップしている。親の立場からも安心できる。私立も先生の想い、園の想いもあり、それはいいのだがそれを外に発信し、外のことを中に取り入れるのが難しいのではないかと思う。波賀がどうしたらいいかということについては、私立と公立が一緒になるのはどちらを柱にするのか、どこまで踏み込めるか、ということは大きいことだ。公立が町内に無いということはどうかなと思う。保護者から良く聞くのは、公立も民間もあって、自分たちで通わせる場所を選択したいというのが親の思いで、いずれは年々人数が減るが、公立という考えも置いてもらいたいとみんなが思っている。私立と公立のこども園を視察し、違いがよく分かってよかった。公立の方は自分の子どもが通っている雰囲気と変わりなかった。私立はすごい個性があった。先生が言われていることも、理事長の考えも違うので、同じ市にある他の私立のこども園も先生や理事長の考え方で全く違う教育を受けているのかと思ってしまった。同じ教育を受けたいと思っている親にしたら基本のベースがあって次の段階で私学を選ぶのだったらかまわないと思うが、私立に違和感が強烈にあり、それはどこから来ているのかと思ったら、理事長の考え方からきているもので企業の社長の考え方ようだった。社長が右を向けといったら先生方も右を向くのかなと思った。それが教育に反映されるのであれば、それは困ると思った。すごいインパクトがあった。</p>
委員	<p>それぞれの意見が出たが、保護者の意見も聞きたかったという意見がでていたが、特に出てきたのは私立の話を知っていると、市との係わりについて不安である。</p>

事務局	<p>市の方はこの辺りについてどの様に考え、進めていこうと思っているのか。</p> <p>今回の視察の中身では独自性がありすぎた。設立はどちらもスムーズにいったが本当はいろいろ問題があったことを聞いたかった。</p> <p>これまでの宍粟市と民間保育所との関係では、教育・保育の内容についての係わりは十分ではないと思う。運営補助金を市から社会福祉法人にだし、それで運営をしてもらう。経理面の監査、指導はできているが保育、教育の内容においてはお任せしていたのが実態だと思う。今回、市が考えている認定こども園とは幼稚園と保育所を一緒にしたものということは理解したが、運営について疑問があるという意見があった。宍粟市が目指す新しいこども園とは保護者の方、地域の方、社会福祉法人、それに行政が関わり一緒に作りたいたいと思っている。担い手の社会福祉法人が全て独自の考えで独自の保育をするというのでは、地域の皆さんの信頼を得られない。そのために核になるこども指針という方針を立て、職員の配置や、看護師か養護教員をこども園に配置し、支援を要する子どもがいる場合は必ず預かり、そのための加配職員を置くようにガイドラインを作っている。その基本の中で保護者の方に宍粟市が目指す教育、保育を理解いただき、担い手にも同じ方向に進んでもらう。双方が理解できたところが「民間にできることは民間に」ということになる。できないのであれば担っていただけないと思う。市としてはその辺りを担い手や保護者に理解いただいたうえで新しいこども園を作っていこうとしている。民間に幼児教育保育をまかせ、これまで行政が十分に関与できていなかった部分を従前のおりしようとは思っていない。そのためにガイドラインや担い手には協定書を示し運営していこうと思う。これをこども園の仕組みとしようと思っている。</p>
委員	<p>こくふこども園なのだが、教育委員会が関与し、子ども指針のようなガイドラインがあって私立のこども園が保育幼稚園教育をしているのか。園長の話のように理事長が運営方針を決めているのか、もし、行政が関わっているのであれば、視察の際に豊岡市の教育委員会が同席していてもいいのではないか。</p>
事務局	<p>われわれが目指しているのは、仕組みとして園評価や公開をしていくこと。組織内だけで完結してはなかなか担保出来ない。そのためには仕組みが必要。</p>
事務局	<p>豊岡市にも幼保一元化の計画も策定されている。こくふこども園、城崎の認定こども園も社会福祉法人が運営している。豊岡市も各民間が勝手に認定こども園を立ち上げているわけではなく、市の計画に基づいた枠組みの中でしている。宍粟市が考えているほどの市の関わりは無いかもしれないが、豊岡市もスタンダードカリキュラムを作り、それに基づき教育・保育を基本とし認定こども園を運営している。城崎の認定こども園を見に行かせてもらった時に聞いた。詳細につきまして次回の資料として出させていたが、大きな方針としては豊岡市も出されている。こくふこども園も理事長にも対応していただく予定だったが、</p>

	<p>急遽、園長のみでの対応になったのと、前もって質問を送っていたこともあり、園長自身の話が長くなったのではないかと思います。竹田こども園は公立幼稚園と公立保育所が一緒になっているということもあり、宍粟市としても朝来市の教育委員会と連絡が取りやすく、こくふこども園は園長と理事長が対応するという事だったので、ご理解いただきたい。</p>
委員	<p>豊岡にスタンダードカリキュラムがあるとなっているが、これはあくまでも、これがスタンダードで、ずれていても何も言わないということか。宍粟市のガイドラインはこれから外れてもらうと困るというようなものか。</p>
事務局	<p>ガイドラインとは、こども指針や幼児教育の核の部分は遵守して欲しいとか、職員配置の部分は財政負担するので必ず守ってもらう。また3、4、5歳は担任制にしてもらいたいとか、この様な取り決めをする。スタンダードカリキュラムとは具体的な教育保育の内容のことで、こども指針を達成するためのカリキュラムを定め、それに園の独自性も取り入れてもらいたいと思っている。</p>
委員	<p>ガイドラインへの行政の係わりについて例え話が多すぎて、実際に決まっていないことで、結局はできないことが多くなり、できませんでしたという話では困る。委員会に対して真剣に取り組んでもらわないと困る。結局は市長の一声で決まってしまうのではないか。何のために我々はボランティアで集まっているのか分からない。</p>
事務局	<p>ガイドライン、指針をみて判断していただいたらいいと思う。幼保一元化を進めるにあたり、保護者の方や地域の方のご理解がないと進めることができない。</p>
委員	<p>先日、小学校のPTA臨時総会をおこない、幼保一元化についてどう思うかというアンケートをとった。1番多い意見が行政の説明が不十分で行政が信用できない。次が幼稚園、保育園の教育方針、仕組みが違うので反対、現状の幼稚園、保育園のままでいい、民間になると選択肢がなくなるので反対という意見があった。行政の説明が不十分、行政が信用できないという意見があったが、2回目の会議で「この委員会で、全員反対の意見がでたら、幼保一元化の話は無しになるのか」と聞いたことがある。その時の行政の答えは「ここは、それを決める場なのでその様にする」とのことだった。検討委員会と、給食センター機能集積検証委員会で中身が違うかも知れないが、給食センターの件で検討する場を設けるとのことだったが、その場を設けないまま、廃止案が議会にでた。それは何故なのか。</p>
事務局	<p>給食センターの件は議論の場、協議の場を持たしてもらいたいとはお伝えしたが、実施時期、持ち方については、約束はできてなかったと思う。その件については議会を通った後になるが地域振興などを検討する場を市民局を中心に検討している。</p>
委員	<p>この委員会も同じ様な扱いをされたら、ここでの話し合いも無駄になる。反対の意見が出て意図をくんでももらえないということか。</p>

事務局	<p>学校規模適正と幼保一元化で子ども達の通う場所が変わり、地域が変わるとい うことを地域の皆さんに理解が得られないのであれば、進めるということでは できない。行政としてもするべきではないと思っている。無理やりできるものでは ないと思っている。</p>
委員	<p>何故、給食センターは実行されたのか。</p>
事務局	<p>給食センターについては安全安心な給食ができるか検証し、いろいろなご意見 があったが、教育委員会事務局として判断させていただいた。4月から全面的な 検証をする中で、安全安心な給食が子ども達に提供できるというように判断し た。</p>
委員	<p>安心安全な給食が届けられるということは誰が判断したのか。</p>
事務局	<p>それは教育委員会事務局として判断し、教育委員会に提案した。</p>
委員	<p>反対の意見はおいといて、行政の中だけで判断したということか。</p>
委員	<p>議会を通過してしまった給食センターの件は覆すことはできないが、心配してい ることは、ここで話をしていることが、突然、給食センターの件のようなことには ならないのか心配している。</p>
事務局	<p>地域の方が一度立ち止まり考えようとしているのに、進めるというようなこと はない。</p>
委員	<p>こども指針と運営のあり方と質の向上を宍粟市全体で並行しながらしている委 員会の内容が決まるまでは地域の委員会はすべきではないと思う。本来なら、指針 や運営のあり方や質の向上が決まってからこの委員会を進めるべきだと思う。 この委員会をする意味がなくなる。教育長は議会の答弁の中で幼保一元化につ いて反対はないという発言について何を根拠に言われているのか。幼保一元化 推進計画の幼保を一緒にすることの反対について説明もないままで反対も賛成 もない状態なのである。答弁で気をつけてもらわないと困る。もうひとつ確認し たいのは、認定こども園の基礎の部分で、幼稚園・保育所・こども園は3つの法 律の網をかぶるという考え方でいいのか。波賀で考えていたイメージは幼稚園 と保育所が合体して認定こども園だけができるということだった。波賀幼稚園、 保育所の2つの施設が1つになり、組織として両方を網羅した認定こども園が あるという考え方でいいのか。</p>
事務局	<p>幼保連携型の認定こども園なので、幼稚園の認可をとった施設と保育所の認可 をとった施設が1つになったものの例が竹田こども園になる。両方の認可をと って、公立の施設なので設置管理条例があり、竹田こども園の幼稚園の部分と竹 田こども園の保育所の部分という形で条例では残っている。民間になった場合 は、設置管理条例が関係なくなってくるので、1つの社会福祉法人の中で謳えば いいことではある。1つは現行の認定こども園制度で行なっているので認可さ れた幼稚園と認可された保育園が1つになり、棟が離れていても同じでも、まと</p>

	<p>めたものとして認定こども園になっている。朝来市の場合は今までの保育園、幼稚園の名前が残っている状態だと思う。国が考えている新しい認定こども園の改正法案の中では今まで認可は文科省と厚労省に別れていたものが1つの内閣府の中にできる。認可も1つの省庁ですので、1つのまとまった認定こども園というものの設置になると思う。</p>
委員	<p>国の法案が定まらない中で、宍粟市で進めるということに不安と不満がある。特に西播磨管内でもまだ2カ所で、県内でもまだ少ない。</p>
委員	<p>視察に行き、朝来市がどうこうという話ではなく、波賀町でどうして行くかということだと思う。自分の保育園に預けている子どもも一生懸命頑張って保育をしてもらい助かる。保育園に通っている幼稚園年齢の子と幼稚園に通っている幼稚園年齢の子とでは保育園に通っている子のほうが、覚えが上であるが、幼稚園と保育園の運動会を見た時に、幼稚園は種目は少ないがのびのびして楽しくしている印象である。保育園はたくさん詰め込み、両方に通わせている親からすると子どもがしんどいのではないかと思う。1つにするというよりも、波賀町の幼稚園で午後保育をしてもらい3歳までを保育園で預かってもらえるようにすれば、人数の確保もできると思う。若い人が戻れるように市の方で考えてもらった方がいいと思う。町に1つになってしまうと、好き放題されてしまう気がする。このまま残してもらおう方が、バランスが取れる。2つを残し成立するやり方を考えてもらいたい。</p>
委員	<p>アンケートの2番目に多かった意見が保育園と幼稚園の教育方針が違うので反対、今のままの幼稚園と保育園のままで問題ない、選択肢がなくなるというのが同率で2位だった。こども園を作りたいなら、民間と公立の両方のこども園を作ってもいいのではないか。</p>
委員	<p>波賀では保育園で幼稚園年齢がきたら幼稚園に行かしているのか。</p>
委員	<p>一宮の方では幼稚園で預かりもある。4、5歳になった子どもは保育園でも幼稚園でも見てもらえる。</p>
委員	<p>みどり保育園では0歳から3歳まで預かってもらい、4、5歳になると幼児教育ということになり幼稚園に行かず。4、5歳で保護者の就労状況があるのならば預かり保育で補えばいいのではないかと、それを波賀町ではどうかというのが清水PTA会長の意見だったと思う。孫も波賀幼稚園に行っている。運動会の種目は少ないけれど自分達でしている運動会というような感じで自主性が感じられる。</p>
委員	<p>教育委員会としてみどり保育所を3歳までとし、4、5歳からは幼稚園というようなこともできるのか。幼保連携型であれば施設を2つ残すことができるのか。そうすれば2つ残り問題がないのか。しかし、みどり保育園がそれを拒否したら物別れになる。</p>

委員	民間なので、こうしろ、ああしろとは言えるのか疑問を感じる。
委員	公立も民間もいいところがあるから2つとも残したいという話をしている。民間は園児が沢山来てもらえれば特色あるものになり、公立は市の教育指針の基にあるので2つ残すのがベストでないかと思う。
委員	在宅で子育てしている保護者の中には幼稚園、保育園がどの様なものか分からない人がほとんどだと思う。自分が子どもを預ける時に考える。そうなった時に自分の教育方針を持っているのに選択肢がなくなるというのは不安という意見を聞く。これは保護者にとってすごく負担に感じる。それから教育委員会に対する苦情で、説明責任が行政にはあると思う。平成26年度の4月にするために今年度中に結論を出すという話があったのが、平成26年の4月にしようと思ったら、この時点で3歳児の保護者になられる方にもっと説明していかないと、いつまでたっても堂々巡りになってしまう。もっと話を進めたいなら、情報提供していかないと今の若いお母さんは他人事に思っている方がほとんどである。情報が全然行き届いていない状況である。議事録も公開してもらっても言いとおっしゃるけども、私達にその責任を負わされても重たい。もっとしっかり行政は責任をまっとうしていただきたい。
委員	給食センターも10月1日から廃止になっていることを知らない方もいる。保護者として、廃止になった案内すらもらっていない。その辺りがおかしい。教育方針も違ってくると思う。5人の子どもがいるとして、教諭が決めた遊びをするのではなく5人で自主性をもち園児同士が話し合い、遊びを決めることが大切になってくる。こういった教育の差があると思う。この様なことを教育委員会がどの様に考えているのかが全く見えてこない。民間にできることは民間にとしか言わないのならば、宍粟市にある公立保育所をつぶせばいい。そうすれば子どもが少ないという民間の苦情がなくなるのではないか。行政は都合のいい話ばかりするから不信感がうまれる。
委員	話を聞いている中で、預かり保育をしているところは幼と保を兼ね備えたところがあり、幼稚園でもして欲しいという思いがある。幼保一元化については納得できるけれども、私立がするか公立がするかがこれからの議論になる。公立は幼稚園だけでいいか公立の保育園も必要か。一宮でできているから波賀でもできるのではないかというような方向でいったらどうか。
委員	同じ様なことを一宮のお母さんはどの様に思っているのか聞いてみたい。その話はどの様に進んでいるのか。実際、預かり保育があつて民の保育園にいつてるとしたら、2年後、預かり保育ではなく、保育園に入れることになる。このことについて一宮、山崎のお母さん方は分かっているのか。
事務局	山崎では幼稚園で預かり保育はすべての園ではできていない。幼稚園での預かり保育の希望がある。

委員	一宮はどうか。今まで幼稚園の預かり保育だったのに、26年度になり認定こども園になり、学童の保育料が、どのように預かり保育の保育料になるか差額の説明はされて納得されているのか。問題としては出てきていないのか。
事務局	基本的には長時間と短時間で保育料は違ってくる」と説明している。
事務局	一宮における幼保一元化の議論と波賀、千種地区との熟度が違う。
委員	山崎と一宮を周知してから波賀も考えたらいいのではないか。波賀と千種だけ認定こども園になり山崎と一宮がならなかったらどうするのか。
事務局	波賀、千種からするのは子ども集団に着目し、子ども達の集団の数を考えたものである。全部の地域を一緒にできれば良いと思う。 熟度はまだ熟してはいないが他の地域でも幼保一元化の話はしている。波賀、千種からする理由は子どもの集団に着目し、早く集団規模を作りたいという思いの中から先行して話をしている。今、全域の話で仕組みを全体で変えていこうとし、理解ができる仕組みを作りたい。各地域で説明しているのが現状である。
委員	5年前くらいから同じ様に説明してくださいといっている。教育委員会は説明してきたと言っていたのに、熟度が違うとはどういうことなのか。
事務局	全ての中学校区で同じ様に話しを進めていかないといけないということで今話をしている。他の中学校区でも立ち上げようとしている。
委員	他の地域が立ち上げるまで、波賀は止まってもいいのではないか。宍粟市内に認定こども園をする地域としない地域が出てきたらどうするのか。
事務局	無理やりはできない。地域が望まないというのであれば無理にはできないし、教育委員会と地域の考えがまったく違う場合はできないと思う。教育委員会として宍粟市全域の仕組みを考える必要がある。地域の望むことと市の考えが全く違うものであれば見合わせる形になる。地域の方が望むことを尊重する中で、市として考えようとしている中で最終的には全ての意にそえないものになるかもしれない。
委員	時代の流れの中で幼保一元化は必要になってくると思う。3歳児までは保育園で4、5歳は波賀幼稚園で預かり保育的なものをして、公立で施設を建てることは可能なのか。
委員	保育園型の私立の認定こども園と幼稚園型の公立の認定こども園という形で2つにできないのか。
事務局	公立のこども園を市の中で整備していくのは非常に難しいと思う。
委員	しかし、一宮北と戸原地区の幼稚園は公立の認定こども園になると聞いた。
事務局	それは言っていない。検証するといっている。
事務局	一宮北、戸原で公立にするというような話はしていない。中学校区で1つという考え方を示しているが山崎南中学校区の場合は2ヵ所になる可能性もあると示している。どの中学校区でも同じ説明と同じ考えを示している。

委員	<p>どちらかをつぶすとか、ひとつにするとか簡単に口にするよりも、野尻幼稚園の ことや子どものことを考えたら不安になるし、子どもを預けている先生のこと を考えても不安になる。ここに集まっている代表が納得できるようにしっかり 説明して欲しい。どちらか1つにする前に、野尻幼稚園のことを先に考えると 保育園の運動場が狭いので広くし子どもが遊べるようなことなど、子ども達に ついて考えることがもっとあるのではないか。</p>
委員	<p>野原校区で臨時総会を8月に開いた。小学校に通う前の保護者の方も入れ15 名が参加した。幼保一元化に賛成の方が3名、反対が12名、幼稚園と幼稚園の 統合に賛成が12名いた。幼稚園は保護者が2名なので、委員会で意見を言っ てもらったらいいのではないかということになった。学校規模適正化の学校の場 所と時期を保護者が決めることは重たい、委員として他の方の意見を集約した わけではないので決められないという意見が出た。周知の徹底をしてもらいた い。ここで話をしているうちに、園児、児童が卒業していくことになり、委員が 変わり又話し合いが振り出しに戻るという繰り返しになる可能性があるので、出 しにくいかもしれないが教育委員会の指針の基に問題をつぶしていかないと進 んでいかないと思う。</p>
委員	<p>野尻幼稚園の保護者として幼稚園入園前の保護者と相談もし、10年前の写真 を見たら、野尻幼稚園でも10人程度の子どもがいたが、現在は2人になった。幼 稚園に入らないと幼稚園の良さは分からない。保護者が就労時間の関係で幼稚園 離れしていき、幼稚園をこのまま保護者2、3人で続けていくのは負担でもある。 子どもにとって先生や親が一番で、親がつぶれたら傷を負うのは子どもなので、 どこかで線は引かないといけないと思う。地域の自分が通っていた野尻幼稚園 がなくなるのであれば、他の幼稚園になるのも幼保一元化も同じようなものだ。 幼保一元化が長引くようであれば、平成26年4月には幼稚園と幼稚園の合併だ けでも早くして欲しい。子どものことを考えていけば、早い段階から子ども同士 の良い関係を作ってもらいたい。これが少人数になっている保護者の意見である。 地域の思いもあるが、人数が2人になってしまったのも、地域が安易に考えて いた結果でもあるのではないかと思う。</p>
委員	<p>公立の幼稚園がほしいという意味か。野尻幼稚園そのものがつぶれるのが嫌な のか。</p>
委員	<p>嫌というよりも、つぶさないように2人や3人で地域の思いを受け止めて守ろ うとしても結局親がつぶれてしまうので、波賀町全体の5～10年先を見て人 数が30名程度なら一緒にしてもらおうほうがいいということ。</p>
委員	<p>幼稚園と保育所を？</p>
委員	<p>その話が長引くなら先に幼稚園の統合を26年4月にしてもらいたいというこ と。</p>

委員	ということは幼保一元化を早くしてほしいということか？
委員	幼保一元化も波賀幼稚園へ行くのも、野尻幼稚園がなくなるのなら一緒ということ。
委員	波賀小学校区でも幼稚園、保育園を合わせても多くない状況である。良い意味で切磋琢磨して育てたい。親としたら人数が多いところに通わせたいと思う。そのうちバランスが崩れてしまい、まだ大丈夫と安易に考えていると選びようがない状態になってしまうのではないか。
委員	選択肢として2つ残して欲しいという意見もある。波賀町で1ヵ所になれば仕方なく親もそこへ預けることになるということではなく、選択肢を残して欲しい。
委員	自分の思っている教育方針のところに通わせるのだったら、他の町の自分の思っている教育方針のところに通わせる。そうなると波賀の人口がもっと減ってしまう。学校規模適正化も公共の建物が無くなったら、そこから人も減っていき、もっと過疎化が進んでくるのではないかと思う。選択肢を残して住みやすいまちにした方がいいと思う。
委員	公立の認定こども園が大半の意見であるような気がする。
委員	教育方針にそれぞれの価値観があると思う。方針があわなければしんどいと思う。市は社会福祉法人でとっているが、この委員会は公でとっている。いつまで考えていても意見は同じだと思う。この委員会はなぜあるのか？まず幼稚園の合併からしたらいいのでは。
事務局	教育方針が保護者の方に伝わり、それが検証されて保護者の意見がフィードバックされ、幼児教育がなされているかを確認する。これは公立の幼稚園についても同じことだと思う。この様な仕組みをこども園に取り入れることで、皆さんに理解してもらえないかと思う。
委員	その考えを私立の保育園が受け入れるのか。公立と教育方針が違うから私立として運営しているので、教育委員会から運営方針を提案されても、納得できるのか。
事務局	ガイドラインも決まり、地域の担い手も決まり、仕組みが決まり、行政、担い手、地域、保護者の方と話し合いをしなければ認定こども園はスタートできないと思う。
委員	宍粟市は私立の認定こども園しか考えていない、朝来のように私立、公立のこども園があれば波賀町は賛成すると思う。私立を通そうとすれば議論は続く。指針をしっかり出してもらい、議論しないといけない。公立の賛成意見を私立でもいいと覆すような意見をだしてもらいたい。
委員	オプションといわれるが、子どもは産業ではないので、新しいこと目玉商品の様なことをすると目を引くが、それは大きな間違いだと思う。私立にすると独自

事務局 委員	性が現れるのは当たり前だと思う。経営するためには目を引くものをしていかないと私立は成り立たないと思う。
委員	社会福祉法人は営利目的の集団ではない。 スイミング、英会話、体操、絵書きのようなオプションがある。稽古事と幼児教育とは違うと思う。私立の幼稚園、保育所は、お稽古事で特色のあることをしているところもある。その辺りで親の負担も増えてくる。公立と私立があれば選択肢があるが、私立になったら子育てを営利目的に考えられているような気がする。 プールに連れて行ってもらえるのは助かっている。自分達でつれて行きたいと思うが、なかなかできないので保育園が行ってくれるのは助かっている。この様な意見があることを知っておいて欲しい。午前中が幼児教育、午後から希望する方がスイミング、英会話があってもいいと思う。田舎でほのぼの育てたいが高校や大人になっていくと競い合わないといけなくなる。親ができない分、そのようなことはすごく助かる。
委員	今、必要なのは子ども指針と方向性であり、これを踏まえもう1度議論していきたい。市の指針はいつぐらいにできるのか。
事務局 委員	11月中旬から下旬頃になると思う。 次回の開催日は平成25年1月22日(火)とします。

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。